

News 2 「木づかい」イベントが目白押し



木の魚を使った釣り体験



樹木の種類を当てるクイズに挑戦

木づかい推進月間のイベントについては
こちら



楽天市場の
特設ページはこちら



※写真はすべて昨年度のものです。



親子で木製のいす作り

日本は世界でも有数の森林国。木材を使うことは、森林のサイクルを保ち、地球温暖化の防止にもつながります。木を使う意義を皆さんに伝えるため、林野庁は、暮らしの中に木製品を取り入れる「木づかい運動」を展開中です。

「木づかい推進月間」である10月は、木材や森林に親しむさまざまなイベントが繰り広げられます。東京都の「木と暮らしのふれあい展」では木製品の展示販売、木工体験などが行われ、大人から子どもまで楽しめます。

このほかに今年は、通販サイト「楽天市場」が木のおもちゃやインテリアを集めた特設ページを開設。この機会にイベントやショップで木製品に触れ、木のある暮らしの良さを実感してみませんか。

写真提供／東京木材問屋協同組合

News 3 全国各地の「実り」大集合



都道府県のブースでは旬の野菜や果物を販売

日本中の旬の農林水産物が集まる農林水産祭「実りのフェスティバル」が11月2・3日の2日間、東京都豊島区のサンシャインシティで開かれます。

新鮮な野菜や果物の即売、試食・試飲を楽しめる都道府県などのブースのほか、農林水産祭の天皇杯を受賞した農林水産業者を紹介する「天皇杯コーナー」、農林水産省の施策を紹介するコーナーなどが設けられます。また、ポニーやウサギ、全国のゆるキャラと触れあえる企画もあり、日本全国の豊かな実りを1カ所でたっぷり楽しめるお祭りです。皆さんのご来場をお待ちしています。

農林水産祭「実りのフェスティバル」

日時：11月2日（金）10時～17時
3日（土）10時～16時

場所：サンシャインシティ ワールドインポート
マートビル4階 展示ホールA

入場無料

詳しくはこちら



※写真はすべて昨年度のものです。



会場内にはたくさんのゆるキャラも



全国の特産品をPR

「MAFF TOPICS」では、農林水産省からの最新ニュースなどを中心に、暮らしに役立つさまざまな情報をお届けいたします。取材・文／丸山 こずえ

News 1 ジビエの情報が盛りだくさん

野生のシカ、イノシシなどによる農作物の被害は全国で毎年約200億円に上り、農山村地域に深刻な影響を及ぼしています。そこで、被害を防ぐために各地で捕獲が進められるとともに、捕獲したシカやイノシシの有効な活用方法として、ジビエ料理に利用して地域の所得につながる取り組みが注目を集めています。

ジビエとは、フランス語で野生鳥獣の肉を意味する言葉。日本でも古くからイノシシなどを料理に使う文化がありますが、最近では、高タンパク低カロリーのヘルシーな食材として人気が高まっています。

このほど開設されたジビエに関するポータルサイト「ジビエト」では、「探す」、「行く」、「知る」の3つのポイントから情報を提供しています。「探す」では、フレンチからラーメンまで、おいしいジビエ料理が食べられる店、「行く」では、全国各地で開催されるイベントや体験ツアーなどを紹介。また、「知る」では、肉の流通過程や衛生管理の取り組みなどが分かります。

ジビエについて、少しでも身近に感じてもらうよう、さまざまな切り口でその魅力をお伝えしていきます。ぜひ、ご覧ください。



狩猟から解体まで実際に見学できるツアーも



気軽にジビエ料理を楽しめる店を紹介

行く

知る



このマークは安全の目印

より安全なジビエを提供するため、認証マークが誕生しました。処理工程や衛生管理などの審査をクリアした処理施設から、提供されているという証です。今後このマークのついたジビエが増えていくことが期待されます。



赤身肉で脂身が少なくヘルシーなシカ肉料理

探す

ポータルサイト
「ジビエト」はこちら



読者の声

読者の皆さまから寄せられた
「aff(あふ)」8月号へ
ご意見・ご感想を紹介します。

特別暑い今年の夏において、とても参考になる内容でした。今後は、さらにエコへの取り組みも重要になってくると思います。技術の進歩に頼るだけでなく、野菜でクールダウンするなどの昔の暑さ対策をもう一度見直していく必要があると思いました。(30代・男性)

我が家にはエアコンが無いので「夏を乗り切る」の記事がありがたかったです。夏野菜の体を冷やす効果は知っていましたが、それぞれの栄養素が持つ効果もすべて良かったです。たくさんトマトを食べようと思います。(30代・女性)

「全国の日本一を訪ねて」の四万十川で遊ぶ子どもたちの写真に目を奪われました。こういった貴重な自然を後世に残せるよう、環境問題と向きあっていかなければなりません。(50代・女性)

「非常食がごちそうに变身」を読み、家にある非常食の賞味期限が切れる前に、アレンジして料理を作ってみようと思いました。(50代・女性)

「私のおもいで弁当」の、「東京に出てきて白いはんぺんを見たときは本当に驚きました」という加藤さんの発言に思わず笑ってしまいました。私は加藤さんとは逆に、東京から静岡へ転居し、黒いはんぺんを見たときの驚きが忘れられません。今では、冷凍庫に必ず黒いはんぺんがあります。(60代以上・女性)

感想をお聞かせください

今後もよりよい広報誌とするため、読者アンケートにご協力ください。農林水産省 Web サイト「aff(あふ)」のページから回答できます。



○編集・発行 農林水産省大臣官房広報評価課広報室
〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1
TEL.03-3502-8111(代表) FAX.03-3502-8766

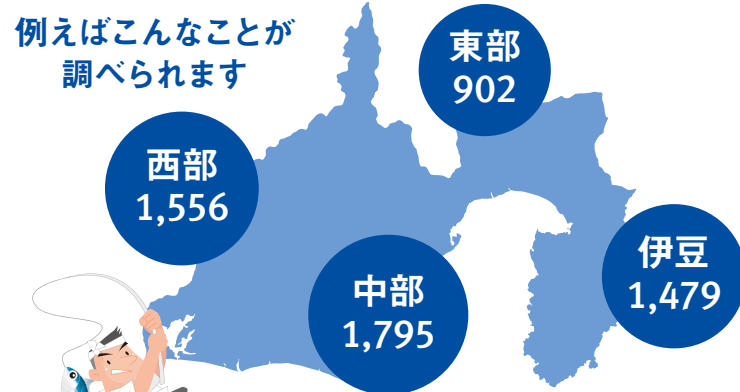
○編集協力 株式会社文化工房
〒106-0032 港区六本木5-10-31 矢口ビル4F
TEL.03-5770-7114(代表) FAX.03-5770-7132
編集/中村麻由美 小尾悠梨子 糸瀬早紀
藤田紫系 小竹結女 小野沢啓子 三邊晶子
アートディレクション/釜内由紀江
デザイン/石川幸彦 清水桂

News 6

漁業のデータ活用に

「地域の漁業を見て・知って・活かすDB(データベース)」が公開されました。このDBは誰でも利用可能で、地域の漁業を集落単位で分析することができます。DBのもとになる情報は、5年ごとに行われる調査「漁業センサス」の結果によるものです。今年は漁業センサスの実施年に当たり、漁業や漁村の実態を把握するため、水産業を営む全世帯・法人を対象に調査が行われます。結果は、今後水産業に関するさまざまな施策に生かされます。

例えばこんなことが
調べられます



静岡県の地域別漁業就業者数(人)
出典:農林水産省「2013年漁業センサス」

データベース
についてはこちら



漁業センサス
についてはこちら



データのもととなる調査を今年実施

クイズの答え

アカマツ

りんごの木箱は、積み上げて使うことから強度が求められ、それに適した硬いアカマツが使われるようになったといわれています。

また、最近では、棚や机などに改造して使われています。丈夫で使い勝手が良く、木の温かみを感じられるので人気ののだとか。木箱は通販などで簡単に手に入るの、ひと味違ったオリジナルの家具を作ってみてはいかがでしょう。



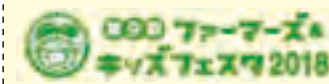
名前の由来にも
なった赤い樹皮
が特徴



News 4 みんなで農業を体験しよう

全国の農業者が集まり、都会の子どもたちに農業の魅力を発信する「第9回ファーマーズ&キッズフェスタ2018」が11月10・11日、東京都千代田区の日比谷公園で行われます。

農業者がこだわって育てた自慢の農産物や加工品の販売、新鮮な食材を使ったグルメ、親子で学べるワークショップなどを通じて、子どもたちに日本の農業と食を紹介するイベントです。来場者も一緒に参加できるステージ企画、動物と触れあえるコーナー、農業機械の乗車体験などもあり、楽しみながら農業を身近に感じることができます。ぜひご家族でお出掛けください。



日時:11月10日(土)、11日(日) 10時~16時
場所:日比谷公園(大噴水広場、第2花壇、小音楽堂、にれの木広場)
入場無料

詳しくはこちら



農業機械の乗車やバクチーの収穫を体験



干し柿作りに挑戦する子どもたち

※写真はすべて昨年度のものです。

News 5 食の縁結び甲子園で熱戦



調理に取り組む高校生たち

高校生が料理のアイデアと腕を競う「食の縁結び甲子園全国大会」が11月10日、島根県松江市で開催されます。
出雲大社がある縁結びの地・島根で開かれるこの料理コンテストは、今年で3回目。出場チームは、地元の食材と島根の食材を組み合わせたオリジナル料理を考案し、大会でプレゼンテーションと調理を行います。
今回の課題は、島根県特産のこめたまご、しいたけ、しじみから2品以上を使った「地域を元気にする!」汁ワンプレートの縁結び創作料理。書類審査を通過した10チームの手によるアイデア料理に注目です。



昨年優勝した北海道三笠高校のメンバー



優勝校の「縁御膳〜食で結ぶ思い〜」

第3回 食の縁結び甲子園全国大会

開催日:11月10日(土)
場所:くにびきメッセ大展示場
内容:出場チームによるプレゼンテーション・調理、来場者が参加できる料理教室など
入場無料

詳しくはこちら



※写真はすべて昨年度のものです。